

第6学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年11月7日(水) 13時30分～14時15分 6年1組教室

2. 議題 「全校集会に出て、みんなが楽しめる発表をしよう」

学級目標

一人ひとりを大切に 何事も全力で取り組み
みんなで乗り越えて 最後にまとまる 六年一組

3. 議題について

(1) 児童の実態

素直で優しい気持ちをもった児童が多い。4月に学級目標を決める際には、担任の思いを伝えた上で、どのようなクラスにしていきたいのかを互いに伝え合った。小学校生活最後の1年を最高学年として充実させていきたいと考える子が多く、「最後の年だから、みんなでどんなことにもチャレンジしていきたい」「男子も女子も関係なく、みんなで仲よくしていきたい」といった前向きな思いが多く出された。一人一人の気持ちがしっかりと言葉に刻まれ、みんなが意識できるよう、1年間大事にしていきたい言葉を入れて学級目標をつくった。行事や日々の学校生活の中で学級目標を意識して行動しようとする児童も増え、縦割り活動(なかよし班)や委員会活動などに進んで取り組む姿も見られるようになってきた。

一方で、他者意識が低く、自分の思いや考えを行動や態度に表すことが苦手といった課題もある。みんなで何か行うときに相手のことを考えずに行動したり、思いや考えを伝える場面で黙ったままでいたりする姿が見られる。学級では、4月から各教科等の授業や行事の振り返りの場面で互いの気持ちを言葉で伝え合い、友達のことを知る時間を大切にしてきた。また、話し手が「伝えてよかった」と思えるよう、話を聞く場での雰囲気づくりの大切さも説いてきた。ただ何となく聞き流すだけでなく、話している友達を大切に、思いや考えをじっくり聞いて反応する態度が少しでも定着していくように、日々指導を続けている。地区別運動会に向けた練習では、互いの気持ちがぶつかり合ったり、思いがすれ違ったりすることが多かった。しかし、その度に思いを伝え合い、気持ちを確認し合ってきた。友達の思いを知り、相手の気持ちを考えて寄り添おうとする態度も少しずつ育っていった。その結果、地区別運動会当日はみんなで目標を乗り越える経験ができた。みんなでひとつのことに取り組む楽しさを感じ、子どもたちに自信がついたように感じる。

これまで学級会では、「6年1組スタート集会をしよう」「8の字跳びでクラスベストをめざそう」「〇〇さんを迎える会をみんなで成功させよう」「クラスのシンボルキャラクターを決めよう」などの議題で6回行ってきた。初めは、意見を言う児童が限られており、あまり意見が出ないまま内容が決まることが多かった。そのため、学級会の中でも、言葉で思いを伝える大切さを児童に伝え続けてきた。第4回学級会「クラスのシンボルキャラクターを決めよう」では、普段、意見を言うことの少ない児童が「このキャラクターが6年1組にとって一番合っている」と力強く話した。そのことをきっかけに、意見が多く出されるようになった。意見が出されるようになると、みんなで決めようという雰囲気が学級の中に出てきた。そして、みんなの意見を聞いて、よりよいものを選んだり、考えを変更したりと折り合いをつけようとする児童の姿も見られるようになってきた。話し合うことで、自分たちの思いが形となる楽しさを実感できる場面が増えてきている。しかし、まだまだ自分の気持ちを伝えることに苦手意識のある児童もいる。「自分たちで話して決めたい」という思いをどれだけ表出できるのかが今後の課題である。そのために、教師側も児童の思いを高めて、自信をもって話し合いを進められるように支援していきたい。

(2) 議題選定の理由

本校では、毎週火曜日の8時30分から8時50分に朝会が設定されている。その枠の第3火曜日には、「全校集会」が行われている。全校集会とは、児童が全校の前で発表したい内容を用紙に書き、応募ボックスに提出して、希望制で出場できる集会である。この時間は集会委員会が中心となって運営をし、学級やクラブ活動などの発表が活発に行われている。発表することを楽しみにしている児童も多く、本学級でも夏休み明けから、「全校集会にクラスみんなで出たい」という意見が議題ポストに寄せられていた。しかし、地区別運動会が近づいており、学級全体が「まずは地区別運動会をみんなで頑張りたい」という雰囲気になっていたため、この議題については取り上げていなかった。

地区別運動会後、学級で振り返りを行い、互いの思いを伝え合った。その中で、「地区別運動会では、クラスみんなでひとつになれて感動した。残りの学校生活でも、みんなと何かをやり遂げてひとつになっていき、思い出をたくさん残したい」と話した児童がいた。そのことをきっかけに、「じゃあ、クラスみんなで全校集会に出ようよ」という声が上がった。また、自分たちだけでなく、見ている人も楽しませたいという思いも出された。そこで、本議題を「全校集会に出て、みんなが楽しめる発表をしよう」とした。

今回の学級会では、柱を1本とし、全校集会で発表する内容を何にするのかを話し合う。議題には、ひとつの大きなことを乗り越えた子どもたちが、またさらに新しいこともみんなで乗り越えていきたいという思いが込められている。「一人では難しいことも、みんなでやればできる」ということを理解してきた児童たちが、何のために発表するのかをじっくり考え、折り合いをつけて話し合うことを願っている。

4. 評価規準

| 集団活動や生活への 関心・意欲・態度 | 集団の一員としての 思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての 知識・理解 |
|---|---|--|
| 学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。 | みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。 |

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

| 活動の場 | 活動内容 | 支援 (○) と評価 (☆) |
|-------------------|--|---|
| 10月29日(月) 休み時間 | ・司会グループと提案者を含めた計画委員会で話し合いの議題を選定する。 | ○事前に話し合い活動の意味について確認し、友達の思いや、地区別運動会後の振り返りをもとに、次回の議題を選定するよう助言する。 ☆学級や学校の充実と向上に関心をもち、次の学級会で話し合いしたいことについて主体的に考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) |
| 10月30日(火) 休み時間 | ・計画委員会で柱と話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 | ○学級会での役割や何を大切にして話し合うのかを確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆教師とともに話し合いの進め方やめあてを考えている。 (集団活動や生活についての知識・理解) |
| 10月30日(火) 帰りの会 | ・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。 | ○話し合う内容や提案者の思いを学級全体に伝え、共有できるようにする。 ☆議題に対して関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) |
| 10月31日(水) 朝の会 | ・議題に対するアイデアを募集する。 | ○用紙を用意し、進んでアイデアを出せるよう声をかける。 ○出されたアイデアは掲示して目に入るようにしておく。 ☆議題に対するアイデアを進んで考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) |
| 11月2日(金) 休み時間 | ・出されたアイデアを短冊に整理して書く。 | ○計画委員会で集めたアイデアを短冊に書きながら、話し合いの方向性を確認できるようにする。 ☆議題について自分の考えをもち、学級会へ向けての見通しをもっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) |
| 11月5日(月) 朝の会 | ・短冊を見ながら、自分の考えを学級会ノートに書く。 | ○出された意見の中で、話し合いのめあてを意識した自分の考えを書くよう助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践) |
| 11月6日(火) 休み時間 | ・計画委員会で学級会の進め方についての最終確認をする。 | ○可能な限り自分たちで確認できるよう見守り、必要に応じて助言する。 ☆話し合いの活動計画について考え、準備している。 (集団の一員としての思考・判断・表現) |

(2) 本時の活動

①ねらい 全校集会でみんなが楽しめる発表内容を話し合って、決める。

②活動計画

| 児童の活動 | 支援 (○) と評価 (☆) |
|--|---|
| <p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案理由、めあての確認 <u>議題</u> 「全校集会に出て、みんなが楽しめる発表をしよう」 <u>提案理由</u> 「地区別運動会では、みんなで目標に向かって取り組みました。練習ではぶつかることもあったけれど、本番はみんなの心がひとつになり、うれしかったです。卒業まで80日を切りました。ここで、全校集会に出て発表をし、みんなとの団結力をさらに高めたいと思いました。また、最高学年として下級生にも楽しんでもらえるような発表をしたいと思い、提案しました。」 <u>話合いのめあて</u> 「みんなが楽しめるクラス発表をして、団結力を高めよう」</p> <p>4. 決まっていることの確認 ・11月20日(火)の全校集会で発表する。 ・6年1組全員で発表に参加する。 ・発表時間は10分以内。・場所は体育館。</p> <p>5. 話合い 「どんな発表内容にするか」 (事前に司会グループの児童と分類・整理した内容を提示する。)</p> <p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. 振り返り</p> <p>8. 先生の話</p> <p>9. おわりの言葉</p> | <p>○進め方などでつまづいた時には、近くで助言する。 ○決まっていることは黒板に掲示しておく。</p> <p>○提案者の思いが提案理由に表れるように事前に確認をしておく。</p> <p>○「みんな」の中に、見ている人たちも含まれていることを事前に確認しておく。</p> <p>○見通しをもって話合いができるようにするために、決まっていることを事前に確認しておく。</p> <p>○事前に「出し合う」は済ませておき、「比べ合う」から始めることで、話合いの時間を十分に確保できるようにする。 ○話合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声をかける。 ○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話合いが行き詰まってしまった時には助言する。 ○友達の思いを想像し、寄り添って聞こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、本時や事後の活動に生かせるようにする。 ☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えて話合いに参加している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○自分たちのこととして話合いに参加できたか、実践に向けてどういう思いをもっているかという視点で振り返るように助言する。 ☆みんなで決めたことの実践へ向けて、期待を抱いている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて称賛し、意欲をもつて実践できるようにする。</p> |

③本時の視点

- ・「みんなが楽しめるクラス発表をして、団結力を高める」というめあてに向かって、話し合っていたか。

④板書計画

第七回 六年一組学級会

はじめの言葉

司会グループの紹介

議題「全校集会に出て、みんなが楽しめる発表をしよう」

提案理由

○○さん

地区別運動会では、みんなが目標に向かって取り組ましました。練習ではぶつかれることもあったけれど、本番はみんなの心がひとつになり、うれしかったです。卒業まで八十日を切りました。ここで、全校集会に出て発表をし、みんなとの団結力をさらに高めたいと思います。また、最高学年として下級生にも楽しんでもらえるような発表をしたいと思いい、提案しました。

めあて

みんなが楽しめるクラス発表をして、団結力を高めよう

話合い

柱 「どんな発表内容にするか」

- 六年一組の日常劇
- 十二支のはじまりの劇
- 六年一組オリジナルの歌
- お笑い
- 千本桜の曲を合奏
- トリコの曲でダンス
- U・S・Aの曲でダンス
- 平成のヒット曲ダンスメドレー

決まったこと

先生の話

ふり返り

おわりの言葉

決まっていること

- ・11月20日(火)の全校集会で発表する
- ・6年1組全員で発表に参加する
- ・発表時間は10分以内 ・場所は体育館

(3) 事後の活動

| 活動の場 | 活動内容 | 支援 (○) と評価 (☆) |
|---------------|---------------------------------|--|
| 11月8日(木)朝の会 | ・全校集会の発表内容に合わせて役割分担をする。 | ○必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 ☆必要な役割分担を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) |
| 11月8日(木)中休み～ | ・役割分担にもとづいて準備をする。 ・発表の練習をする。 | ○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆決まった役割の準備を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) |
| 11月20日(火)全校集会 | ・全校集会で発表する。 | ○準備や練習してきた成果を出せるよう見守る。 ☆みんなが準備や練習してきたことを思い出し、互いに信頼し合って実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践) |
| 11月20日(火)朝の会 | ・振り返りカードを書き、クラスみんなが実践を振り返る。 | ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、自分たちでクラス発表をつくりあげられたことを実感できるようにする。 ○今回の活動を次にどう生かしていきたいかを考えられるよう助言する。 ☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践を振り返り、みんなが決めたことを実践する意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) |